

# SDS(安全データシート)

作成日:2019/6/6

## 1.製品及び会社情報

製品名 : ジアのチカラLight  
会社名 : 株式会社ピュアソン  
住所 : 東京都豊島区池袋2-63-4  
担当部門 : 品質管理部  
担当者 : 石田智洋  
電話番号 : 03-5960-3121  
FAX番号 : 03-5960-3128  
整理番号 : F29L005  
推奨用途および : 除菌  
使用上の制限 : 水がかかってはいけない場所に使用しない

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類:

#### 物理化学的危険性:

火薬類 : 分類対象外  
可燃性/引火性ガス : 分類対象外  
可燃性/引火性エアゾール : 分類対象外  
支燃性/酸化ガス : 分類対象外  
高圧ガス : 分類対象外  
引火性液体 : 区分外  
可燃性固体 : 分類対象外  
自己反応性化学品 : 分類できない  
自然発火性液体 : 区分外  
自然発火性固体 : 分類対象外  
自己発熱性化学品 : 分類できない  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性液体 : 分類できない  
酸化性固体 : 分類対象外  
有機過酸化物 : 分類対象外  
金属腐食性物質 : 分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性-経口 : 区分外  
急性毒性-経皮 : 分類できない  
急性毒性-吸入(気体) : 分類対象外  
急性毒性-吸入(蒸気) : 分類できない  
急性毒性-吸入(粉塵/ミスト) : 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分外  
眼に対する重篤な損傷性/刺激 : 分類できない  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性:

水性環境急性有害性 : 分類できない  
水性環境慢性有害性 : 分類できない

### GHSラベル要素:

絵表示またはシンボル: なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

#### 注意書き:

安全対策 : 使用前に取扱説明書入手すること。

応急措置 : 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 流水/シャワーで洗うこと。

保管 : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
廃棄 : 冷暗所で保管すること。  
: 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。  
: 廃棄物に関し不明な点がある時は所轄の自治体に問い合わせること。

重要な兆候 : なし

### 3.組成および成分情報

単一/混合物 : 混合物

#### 成分

No.	成分名	CAS No.	含有率
1	次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9	0.008%以上
2	酢酸	108-24-7	非公開

### 4.応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所  
: へ移動し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡  
: すること。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布で拭き取る。外観に変化が見られたり、刺激痛がある場合、気分  
: が悪いときには医師の診断を受けること。汚染した衣類は脱ぎ去り、患部を多  
: 量の清浄な水でよく洗う。皮膚に付着した場合は多量の水で洗うこと。

目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用して  
: いて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医  
: 師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には安静にし、気分が悪い場合は医師の診断を受け  
: ること。嘔吐物が気管に流入しないように注意する。医師の指示による以外  
: は無理に吐かせないこと。

もっとも重要な兆候及び症状

なし

応急措置をする者の保護

・換気を行う

・応急措置作業の際には、「8.ばく露防止及び保護措置」の項に記載する保護具を着用する。

### 5.火災時の措置

消火剤 : 大量の噴霧水、泡薬剤(耐アルコール泡薬剤)、粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 酸性の消火剤

特有の消火方法、消火を行う者の保護

・可燃性の物を周囲から素早く取り除く。

・指定された消火剤を使用すること。

・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

・周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

・消火作業は風上から行う。

・延焼の恐れが無いよう水スプレーで周辺を冷却する。

・状況によって防火服・耐熱服を着用する。

### 6.漏出時の措置

人体に対する注意 : 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防  
事項、保護具及び緊急時の措置 : 止する。付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。着火した  
: 場合に備えて適切な消化器を準備する。作業の際には、「8.ばく露防止及び  
: 保護措置」の項に記載する保護具を着用する。屋内の場合、処理が終わるま  
: で十分に換気を行う。屋外の場合、風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 :少量の場合には、乾燥砂、おがくず、ぼろきれ等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、周囲を土砂等で覆って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。

封じ込め及び浄化の方法/機材 :付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置すること。漏出物は密封できる容器に回収し安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。

二次災害の防止策 :すべての発火源を速やかに取り除く。着火していないドラム缶、設備等に放水し延焼・加熱・破裂の防止に努める。

## 7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い  
技術的対策 :容器はその都度密栓する。

局所排気/全体換気 :特になし

保管  
技術的対策 :直射日光を避ける。火気、熱源から遠ざけて保管する。

適切な保管条件 :通風のよい乾燥した冷暗所に保管する。容器は密閉する。酸化性物質や過酸化物質類と同一場所に保管してはならない。

## 8.ばく露防止及び保護措置

設備対策 :取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

### 許容濃度

化学物質名	TWA	日本産衛学会
酢酸	10 ppm	25 mg/m <sup>3</sup>

### 保護具

呼吸器の保護具 :必要に応じて保護マスク  
手の保護具 :必要に応じて保護手袋  
眼の保護具 :必要に応じて保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 :必要に応じて保護衣  
:TWA 労働者が、1日8時間及び週40時間程度で日常的にばく露しても、悪影響が現れないであろうと判断される濃度

## 9.物理的及び化学的性質

外観  
物理的状态 :液体  
色 :液体無色透明  
臭い :微かな酢酸臭  
pH :5-6  
融点/凝固点 :0°C  
沸点 :100°C  
引火点 :該当情報なし  
自然発火温度 :該当情報なし  
燃焼性 :該当情報なし  
燃焼または爆発範囲の上限/下限 :該当情報なし  
水に対する溶解度 :混和  
分解温度 :該当情報なし

## 10.安定性及び反応性

安定性 :通常の条件下で安定  
:強酸性物質と反応して塩素ガスが発生するおそれ

## 11.有害性情報

急性毒性 :LD50 (経口マウス) 20ml/kg以上 (80 ppm)  
刺激性 :ヒト皮膚一時刺激性試験 皮膚刺激指数=6.3(低刺激性の化粧品レベル) (80 ppm)

---

## 12.環境影響情報

環境中に放出された場合、速やかに分解するため、環境への負荷は低い

---

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄時に酸性のものと混合しないように注意する

汚染容器および包装 : 軽く水洗いしてから廃棄する

---

## 14.輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に  
行取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

陸上輸送 : 該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送法に従う  
こと。

海上輸送 : 船舶安全法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に従うこと。

国連番号 : 該当なし

---

## 15.適用法令

消防法 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物（酢酸）

PRTR法 : 該当せず

航空法 : 該当せず

船舶安全法 : 該当せず

---

## 記載内容の取扱い

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。